

日本及びその周辺での主な地震活動

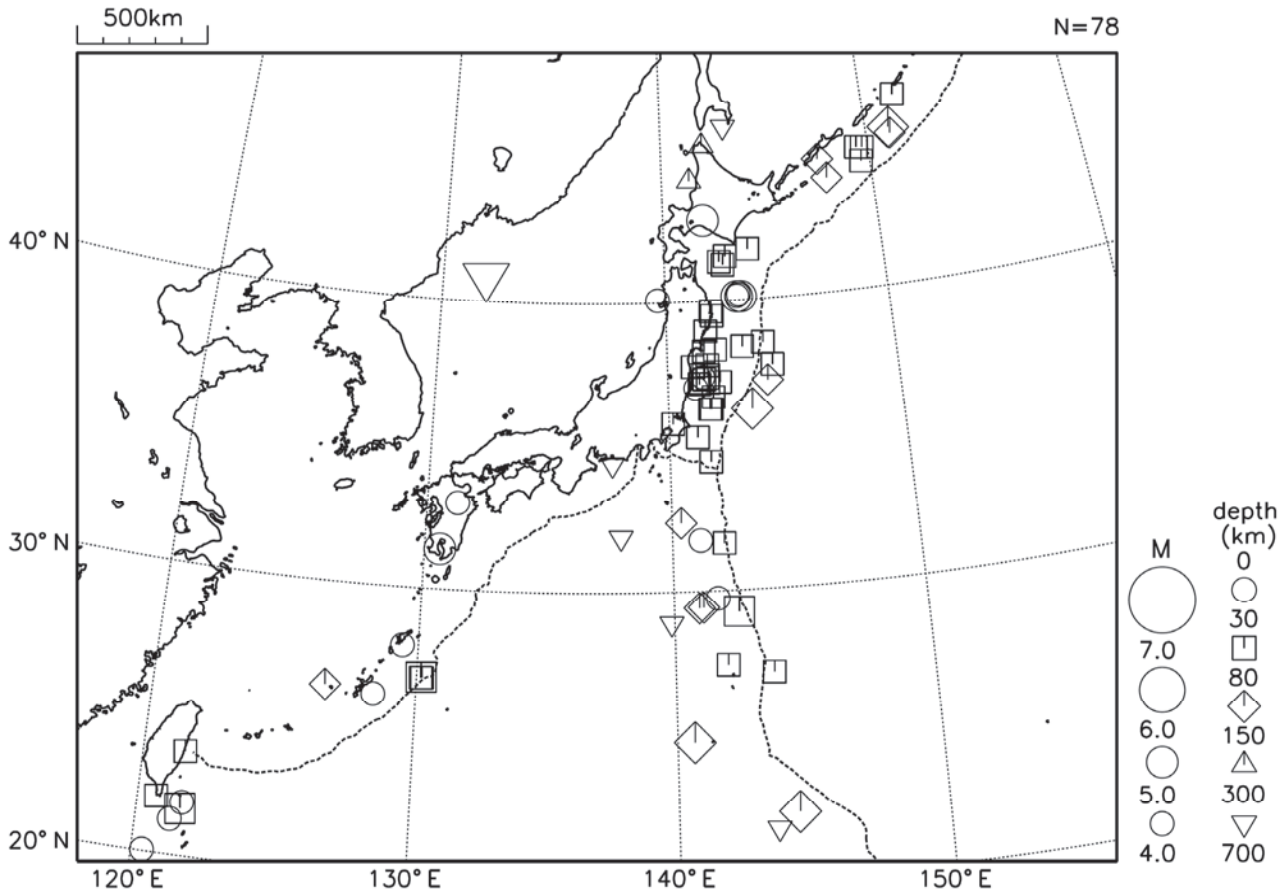


図 1 平成 29 年 7 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

7 月 1 日 23 時 45 分に胆振地方中東部の深さ 27km で M5.1 の地震が発生した。この地震により、北海道で震度 5 弱を観測したほか、北海道から青森県にかけて震度 4～1 を観測した。この地震により、重傷 1 人の被害が生じた（平成 29 年 7 月 10 日現在、総務省消防庁による）。

7 月 2 日 00 時 58 分に、熊本県阿蘇地方の深さ 11km で M4.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震は、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の活動域内で発生した。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられるものの継続している。一連の地震活動により、死者 239 人、負傷者 2,780 人、住家全壊 8,671 棟などの被害が生じた（平成 29 年 7 月 14 日現在、総務省消防庁による）。

7 月 11 日 11 時 56 分に鹿児島湾の深さ 10km で M5.3 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、鹿児島県で震度 5 強を観測したほか、九州地方で震度 5 弱～1 を観測した。この地震により軽傷 1 人、落石 2 か所の被害が生じた。（平成 29 年 7 月 18 日現在、総務省消防庁による）。

平成 29 年（2017 年）7 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 5 回（6 月は 5 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 78 回（6 月は 74 回）であった（図 1）。

7 月中に発生した主な地震を表 1、M3.0 以上の地震の震央を図 2、震度 4 以上を観測した地震の震度分布図を図 3 に示す。7 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 3 回、津波を観測した地震はなかった（6 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回、津波を観測した地震はなかった）。

表 1 平成 29 年 7 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	7 1 23 45	胆振地方中東部	5.1	5.0	・ H S ・	5 弱：北海道 安平町早来北進* 安平町追分柏が丘* 被害：重傷 1 人 (平成 29 年 7 月 10 日現在)	4、8
2	7 2 0 58	熊本県阿蘇地方	4.5	4.4	・ ・ S ・	5 弱：熊本県 産山村山鹿*	5、 15～16
3	7 7 21 48	福島県沖	4.9	4.8	・ ・ S ・	4：福島県 新地町谷地小屋* など 1 県 6 地点	5、10
4	7 11 11 56	鹿児島湾	5.3	5.2	・ H S ・	5 強：鹿児島県 鹿児島市喜入町* 緊急地震速報（警報）を発表 被害：軽傷 1 人など (平成 29 年 7 月 18 日現在)	6、17
5	7 13 4 48	日本海西部	6.3	5.8	M ・ ・ ・	1：北海道 白糠町西 1 条* など 1 道 2 県 4 地点	20
6	7 20 9 11	福島県沖	5.8	5.8	・ ・ S ・	4：福島県 いわき市三和町 宮城県 石巻市桃生町* など 2 県 6 地点	6、11

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

(注 4) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

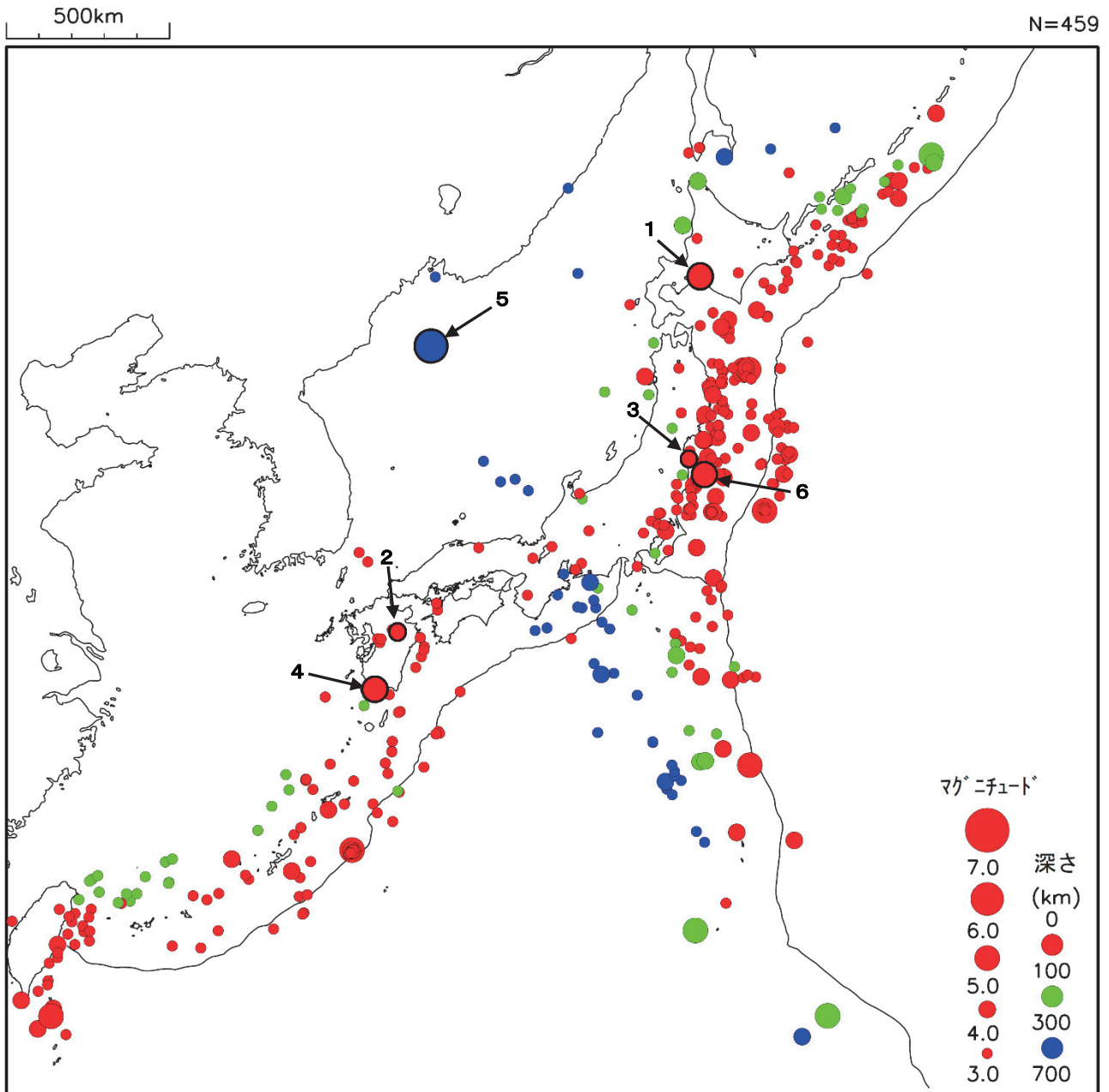


図 2 平成 29 年 7 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)